



イベントの監視

StorageGRID 11.5

NetApp
April 11, 2024

目次

イベントの監視	1
Nodesページでイベントを確認します	1
グリッドトポロジページでイベントを確認する	1
以前のイベントを確認しています	1
イベント数のリセット	2
カスタムsyslogイベントを作成しています	4
カスタムイベントのカウントを0にリセットします	5

イベントの監視

グリッドノードによって検出されたイベントを監視できます。これには、syslog サーバに記録されたイベントを追跡するために作成したカスタムイベントも含まれます。グリッドマネージャに表示される Last Event メッセージには、最新のイベントに関する詳細が表示されます。

イベントメッセージは、にも表示されます `/var/local/log/bycast-err.log` ログファイル：

SMTT (Total events) アラームは、ネットワークの問題、電源の停止、アップグレードなどの問題によって繰り返しトリガーされることがあります。このセクションでは、イベントを調査する方法について説明します。これにより、これらのアラームが発生した理由をより詳しく理解できます。既知の問題が原因でイベントが発生した場合、イベントカウンタをリセットしても安全です。

Nodes ページでイベントを確認します

ノードページには、各グリッドノードのシステムイベントがリストされます。

1. [ノード (Nodes)] を選択し
2. **grid node** > * Events を選択します。
3. ページの上部で、グリッドノードで検出された最後のイベントを示す「* Last Event *」のイベントが表示されるかどうかを確認します。

イベントはグリッドノードからそのままリレーされ、重大度レベルが「ERROR」または「CRITICAL」のログメッセージがすべて含まれます。

4. テーブルを参照して、イベントまたはエラーの数がゼロでないことを確認します。
5. 問題を解決したら、[イベントカウンタのリセット*] をクリックしてカウントをゼロに戻します。

グリッドトポロジページでイベントを確認する

また、グリッドトポロジページには、グリッドノードごとのシステムイベントも表示されます。

1. Support > Tools > Grid Topology * を選択します。
2. [**site ***] > [**_grid node**] > * ssm * > * Events * > * Overview * > * Main * の順に選択します。

関連情報

["イベント数のリセット"](#)

["ログファイル参照"](#)

以前のイベントを確認しています

以前のイベントメッセージのリストを生成して、過去に発生した問題を特定することができます。

1. Support > Tools > Grid Topology *を選択します。
2. [site *] > [*_grid node] > * ssm * > * Events * > * Reports *]を選択します。
3. 「* テキスト *」を選択します。

「* Last Event *」属性は「Charts (チャート)」ビューには表示されません。

4. 属性 * を * 最後のイベント * に変更します。
5. 必要に応じて、* クイッククエリ * の期間を選択します。
6. [更新 (Update)]をクリックします。

Text Results for Last Event
2009-04-15 15:19:53 PDT To 2009-04-15 15:24:53 PDT

Time Received	Sample Time	Value
2009-04-15 15:24:22	2009-04-15 15:24:22	hdc: task_no_data_intr: status=0x51 { DriveReady SeekComplete Error }
2009-04-15 15:24:11	2009-04-15 15:23:39	hdc: task_no_data_intr: status=0x51 { DriveReady SeekComplete Error }

関連情報

["グラフとレポートを使用する"](#)

イベント数のリセット

システムイベントを解決したら、イベント数を0にリセットできます。

必要なもの

- Grid Managerにはサポートされているブラウザを使用してサインインする必要があります。
- Grid Topology Page Configuration権限が必要です。


























手順

1. ノード*>グリッドノード*>イベント*を選択します。
2. カウントが0より大きいイベントがすべて解決されたことを確認します。
3. [イベントカウントのリセット]をクリックします。

Events

Last Event

No Events

Description	Count	
Abnormal Software Events	0	
Account Service Events	0	
Cassandra Heap Out Of Memory Errors	0	
Cassandra unhandled exceptions	0	
Chunk Service Events	0	
Custom Events	0	
Data-Mover Service Events	0	
File System Errors	0	
Forced Termination Events	0	
Hotfix Installation Failure Events	0	
I/O Errors	0	
IDE Errors	0	
Identity Service Events	0	
Kernel Errors	0	
Kernel Memory Allocation Failure	0	
Keystone Service Events	0	
Network Receive Errors	0	
Network Transmit Errors	0	
Node Errors	0	
Out Of Memory Errors	0	
Replicated State Machine Service Events	0	
SCSI Errors	0	
Stat Service Events	0	
Storage Hardware Events	0	
System Time Events	0	

[Reset event counts !\[\]\(e2376d476d06eb31946dc01a69a4403a_img.jpg\)](#)

カスタムsyslogイベントを作成しています

カスタムイベントでは、カーネル、デーモン、エラーとクリティカルのレベルのユーザーイベントなど、syslog サーバに記録されるすべてのイベントを追跡できます。カスタムイベントは、システムログメッセージ（ネットワークセキュリティイベントやハードウェア障害）の発生を監視するのに役立ちます。



このタスクについて

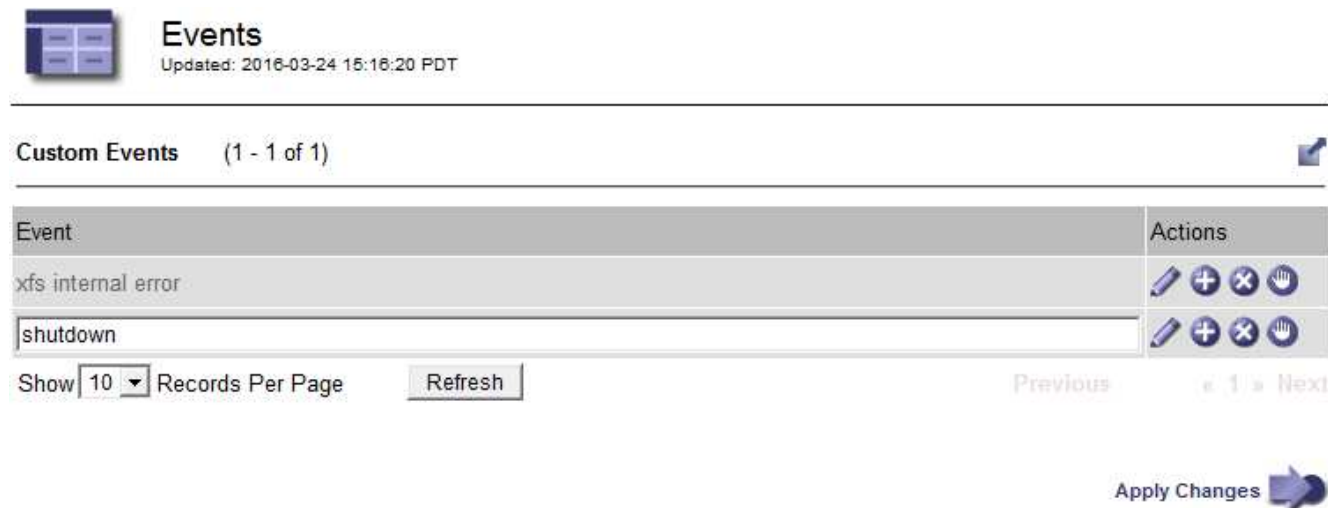
繰り返し発生する問題については、カスタムイベントの作成を検討してください。カスタムイベントを使用する際は、次の点を考慮する必要があります









- カスタムイベントが作成されると、該当するイベントが発生するたびに監視されます。すべてのカスタムイベントの累積数の値は、* Nodes > *_grid node_name > Events * ページで確認できます。
- でキーワードに基づいてカスタムイベントを作成します /var/log/messages または /var/log/syslog ファイル。これらのファイルのログは次のようにする必要があります。
 - カーネルによって生成されます
 - デーモンまたはユーザプログラムによってエラーまたはクリティカルのレベルで生成されます

*注：*内のすべてのエントリが含まれているわけではありません /var/log/messages または /var/log/syslog 上記の要件を満たしていないファイルは照合されません。

手順

1. * Configuration > Monitoring > Events * を選択します。
2. [編集 (Edit)] をクリックします。  (または * Insert *)  最初のイベントではない場合) をクリックします。
3. shutdown などのカスタムイベント文字列を入力します



Event	Actions
xfs internal error	   
shutdown	   

4. [変更の適用 *] をクリックします。
5. [ノード (Nodes)] を選択し次に、*_grid node_> * Events * を選択します。
6. Events テーブルで Custom Events のエントリを探し、* Count * の値を監視します。
























カウントが増えている場合は、そのグリッドノードで監視しているカスタムイベントがトリガーされています


す。

Overview Hardware Network Storage **Events**

Events ?

Last Event No Events

Description	Count	
Abnormal Software Events	0	
Account Service Events	0	
Cassandra Heap Out Of Memory Errors	0	
Cassandra unhandled exceptions	0	
Custom Events	0	
File System Errors	0	
Forced Termination Events	0	
Hotfix Installation Failure Events	0	
I/O Errors	0	
IDE Errors	0	
Identity Service Events	0	
Kernel Errors	0	
Kernel Memory Allocation Failure	0	
Keystone Service Events	0	
Network Receive Errors	0	
Network Transmit Errors	0	
Node Errors	0	
Out Of Memory Errors	0	
Replicated State Machine Service Events	0	
SCSI Errors	0	
Stat Service Events	0	
Storage Hardware Events	0	
System Time Events	0	

[Reset event counts](#) 

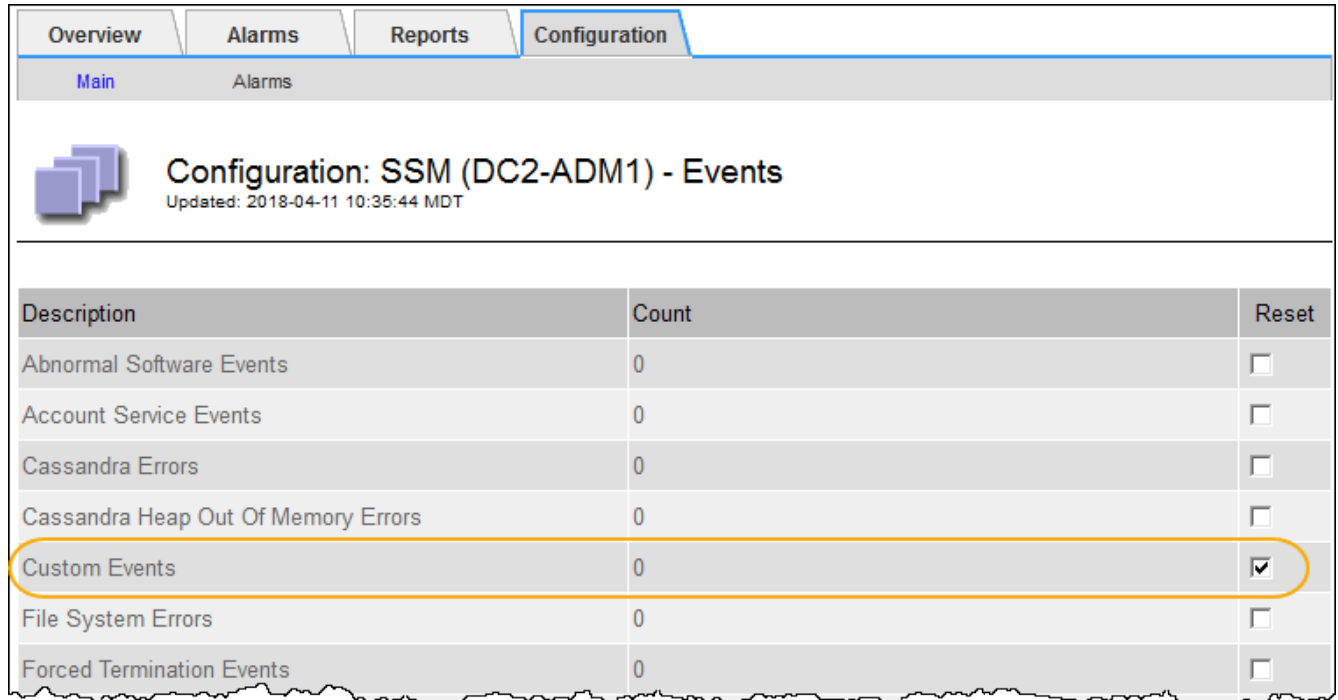
カスタムイベントのカウンタを0にリセットします

カスタムイベントのカウンタのみをリセットする場合は、のサポートメニューのグリッドトポロジページを使用する必要があります。

このタスクについて

カウンタをリセットすると、次のイベントによってアラームがトリガーされます。一方、アラームを確認した場合は、次のしきい値レベルに達したときのみアラームが再度トリガーされます。

1. Support > Tools > Grid Topology *を選択します。
2. * grid node* > * ssm * > * Events * > * Configuration * > * Main * を選択します。
3. カスタムイベントの * リセット * チェックボックスをオンにします。



The screenshot shows a web interface with a navigation bar containing 'Overview', 'Alarms', 'Reports', and 'Configuration'. Below the navigation bar, there are sub-tabs for 'Main' and 'Alarms'. The main content area is titled 'Configuration: SSM (DC2-ADM1) - Events' with a sub-header 'Updated: 2018-04-11 10:35:44 MDT'. A table below lists various event types with their counts and reset checkboxes. The 'Custom Events' row is highlighted with a yellow circle, and its 'Reset' checkbox is checked.

Description	Count	Reset
Abnormal Software Events	0	<input type="checkbox"/>
Account Service Events	0	<input type="checkbox"/>
Cassandra Errors	0	<input type="checkbox"/>
Cassandra Heap Out Of Memory Errors	0	<input type="checkbox"/>
Custom Events	0	<input checked="" type="checkbox"/>
File System Errors	0	<input type="checkbox"/>
Forced Termination Events	0	<input type="checkbox"/>

4. [変更の適用 *] をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。